



最終処分場の状況と

ごみの出し方に関する説明会

令和4年6月

作成：網走市市民環境部生活環境課

1. 最終処分場の状況について

現在供用している最終処分場は、平成30年度から令和14年度までの15年間供用する計画で設置しています。

表のとおり、計画の1.7から1.8倍のごみが埋め立てられている状況です。

令和3年の測量結果、残余割合が52%となっていることから、このペースの利用では、「あと4～5年で終了」との結果が出ています。

		計画量	30年度	31年度	2年度	3年度
年間埋立量		4,468t	8,141t	8,118t	7,716t	6,939t
処理実績内訳	埋立ごみ・粗大	2,580t	3,920t	4,410t	4,413t	4,631t
	紙おむつ類	1,000t	1,268t	1,262t	1,061t	845t
	生ごみ残さ	703t	2,714t	2,212t	2,056t	1,345t
	資源残さ	185t	239t	234t	186t	329t
	大空町で焼却	—	—	—	—	△211t

※生ごみ残さ計画量 生ごみ排出量4,689tの15%（残さ703t、減量2,579t、堆肥1,407t）

※資源残さ計画量 容器包装プラスチック排出量の1,236tの15%

※大空町焼却 大空町で焼却処理したことによる埋立処理減量分

2. 計画埋立量と現埋立量の相違について

計画埋立量と現埋立量の相違の説明は次のとおりです。

1. 埋立ごみとして出されたごみを調査したところ、約3分の1が、缶・ペットボトル・紙類・生ごみ・容器包装プラスチックといった資源化できるごみが混入しています。
2. 使用済紙おむつ類は、直接埋立しています。
3. 生ごみ堆肥化処理では、破袋処理が間に合わず、生ごみとして収集した大部分が堆肥化処理できずに埋立処理していました。
4. 資源残さは、リサイクルセンターで選別した資源物で、リサイクルに回せないものを埋立処理しています。

※埋立ごみの内容と、生ごみ処理が計画通りに進まなかったことが大きな要因となっています。

3. 埋立量減量化に向けた対応①

(1) 生ごみ堆肥化施設の改良

生ごみは袋で収集しているため、当該施設には袋を除去する「破袋機」を設置しました。しかし、衣類などの異物が入ることで破袋機の停止することが多くあり、計画通りに生ごみを処理できていない状況にありました。

令和2年度において破袋機1台と発酵槽4槽を増設し、仮に破袋機1台が停止したとしても処理を継続できるよう、施設の能力を増強しました。

・令和2年度と3年度の生ごみ処理量比較

	搬入量	残さ量	処理量	堆肥化率
R2	3,015t	2,056t	959t	32%
R3	2,927t	1,345t	1,582t	54%

※令和4年度 4月65%、5月61%

(2) 生ごみコンポスト、生ごみ電動処理機購入に対する補助事業の再開

令和4年度より、再開しています。

コンポスト：1基当たり2,000円

電動処理機：購入額の半額（上限25,000円）

4. 埋立量減量化に向けた対応②

○現状では、コロナ禍に伴うマスクごみなど、衛生ごみの区分と処理方法が必要となっています。

○人口減少時代の中であっても、持ち家の処理、更には住み替えに伴うごみの増加などが予測されます。

○埋立処理をするごみの増加については、更なる減容化の手法が必要となってきます。

○現在の埋立ごみの排出方法については、今後も更なる説明と啓発を続け、適正化を進めていきます。

○堆肥化処理の阻害要因については、分別方法の改善を図る必要もあります。

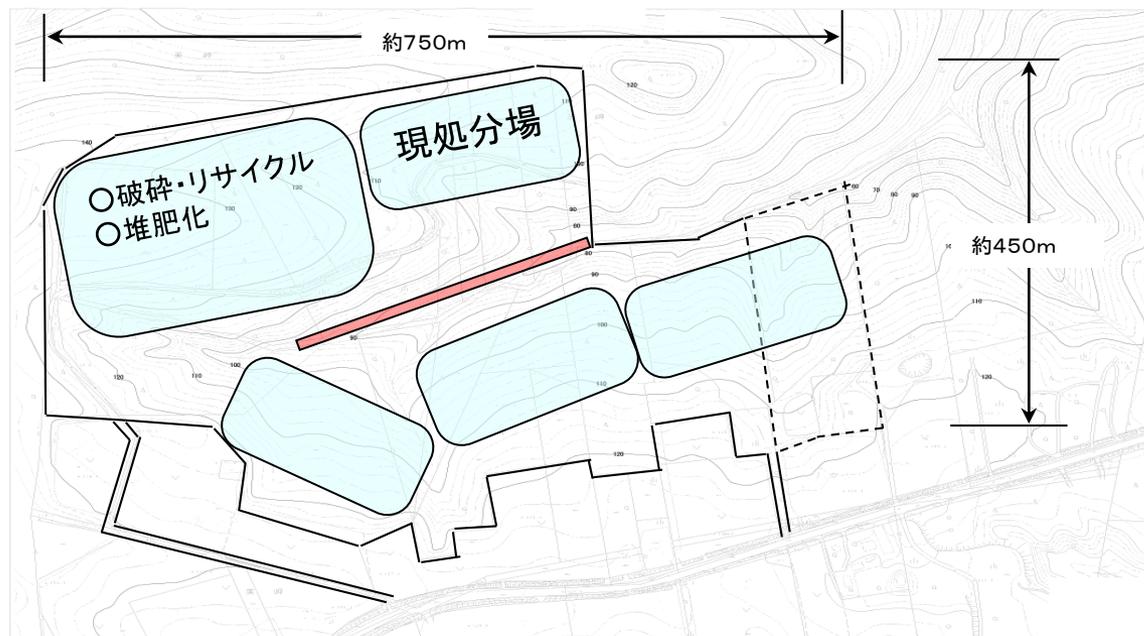
- ①紙系のもの（ティッシュなどの汚れた紙）
- ②木質系のもの（爪ようじ、割りばしなど）
- ③貝殻
- ④草枝木

※分別の方法が変更となる場合は、改めてご案内します。

5. 次期処理計画の策定

これまでの反省を踏まえ、次の廃棄物処理計画を立てる際には、実態に即した数量を精査し、網走市廃棄物減量化等推進懇話会の答申を受けた上で、次期計画を策定する必要があるものと考えております。

なお、現在明治で供用している施設では、次期以降の最終処分場の用地を確保している状況です。



可能な限り既存の地形を利用した形での土地利用を検討します。
中央の棒線で示したラインが、谷の深い部分です。

6. (ごみの出し方) 分別協力のお願い

埋立ごみの中に、資源化できるごみ（各資源物、生ごみ、容器包装プラスチック）を入れることはやめましょう。分別の協力についてお願いします。

資源をすてないで

皆さんが分別された生ごみ・容器包装プラスチック・ペットボトル等の資源物はそれぞれ選別処理を行い、新たな製品に生まれ変わります。

しかし、埋め立てごみ（赤色の袋）で出されてしまうと、全てが埋め立て処分され、大事な資源が減るばかりか、最終処分場の埋め立て量が増え、環境負荷が大きくなります。

ごみと資源の分別にご協力ください。

●例：ペット
ボトルの資源
再生



7. その他

町内会や、各種団体、職場等での説明を希望される場合は、日程調整をした上で個別に対応しますので、別途ご連絡を頂けると幸いです。

連絡先：網走市役所 生活環境課 内線328